

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1093	(H.24)No.	1093
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農地銀行農地移動適正化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
農業委員会事務局	農業委員会事務局	秋永 正人	

会計区分	事業コード	291001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	農地銀行農地移動適正化事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業委員会費	農地銀行農地移動適正化事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	5	計画的な集落環境整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農業の担い手を育成確保し望ましい農業構造の実現を図る。
事業内容
地域の農地事情に精通した農業委員による、農地パトロール等を行い耕作放棄地の減少に努めるとともに、農地銀行制度により農地の貸し手と借り手のマッチングを図る。 農業委員の改選を踏まえ、任期3年中の1年目と2年目に計2回の視察研修を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく賃借権の審査を年6回実施。(利用権設定の公告4、5、6、8、12、2月) 利用権設定面積120.13ha、設定率11.0%(農振農用地面積1,091ha) 農業委員研修会旅費 398千円、視察研修バス借上料 180千円 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく賃借権の審査を年2回実施。 農地銀行制度に基づき貸し手の情報を収集し、新規就農者や規模拡大を目指す農業者にあっせんする。 「人・農地」プランの策定に向けた地区での話し合いを、農地の利用権設定の面から支援する。 視察研修の実施

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく賃借権の審査実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援 視察研修の実 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく賃借権の審査実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「農業経営基盤強化促進法」に基づく賃借権の審査実施 農地パトロールによる適正管理指導 「人・農地プラン」策定支援

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	578千円	100千円	500千円	100千円	100千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 578	100	500	100	100
人工数					
職員	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 2,310千円	2,310千円	2,310千円	2,310千円	2,310千円
+ 総事業費	(0千円) 2,888千円	2,410千円	2,810千円	2,410千円	2,410千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
利用権設定(農地の貸し借り)面積、設定率ともに、23年度に比べ増加しているが、耕作放棄地の解消や予防のためにはさらに踏み込んだ対策が必要。	計画的な集落環境整備の一環として、耕作放棄地の解消と予防のため、耕作放棄地予備軍の把握と新規就農者、規模拡大希望者へのあっせん(農地銀行)を行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農地の貸し手と借り手のマッチングを進めることで、農地の荒廃、ひいては集落環境の荒廃を防ぐことができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	耕作放棄地を地域づくり組織が管理し、利用者に貸し出す「レクリエーション農園」の実現に向けて、地域づくり組織、農業委員、地域部と協議中。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

〔選択肢〕 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
・農地銀行制度の拡充(貸し手の情報の収集・把握・借り手へのあっせん)	